

倉田啓明 くらたあきら 小説家、劇作家。明治二十四年九月八日生れ（父一

一）。本名潔。筆名倉田紅楓、小野清子。雑誌『三田文學』等、作品

を發表してゐたが、長田軒彦、谷崎潤一郎の名を騙つて原稿料を詐取

した廉で下獄。出所後、懲罰刑等の世話で北島春石家へ寄食、その代

作等をしてゐたとひふ（櫻井均著『奈落の作者』昭和五十二年八月一

千五百文治書堂書店）。大正十二年春石の歿後は消息不明と談書ひ記す

と、昭和二年十一月一日大日本雄辯會講談社刊、雑誌『キング』第二

巻第十一「流石小説『四谷怪談縁起』を發表してやう、執筆活動はその

後と續いてゐる。

四谷怪談縁起

倉田 啓明 作
井川 洗 厘 畫



紙幣は、昭和二年十一月一日、大日本雄辯會講談社刊、雑誌『キング』第二巻第十一「流石小説『四谷怪談縁起』を發表してやう、執筆活動はその後と續いてゐる。

『四谷怪談縁起』は、昭和二年十一月一日、大日本雄辯會講談社刊、雑誌『キング』第二巻第十一「流石小説『四谷怪談縁起』を發表してやう、執筆活動はその後と續いてゐる。

『四谷怪談縁起』は、昭和二年十一月一日、大日本雄辯會講談社刊、雑誌『キング』第二巻第十一「流石小説『四谷怪談縁起』を發表してやう、執筆活動はその後と續いてゐる。